

マンション傾斜問題 ! 地盤調査は必要 ?

横浜市のマンションで杭の施工データが改ざんされた事が大きな社会問題となっています。平成17年の構造計算書偽装問題と同じように建築業界にとっては重大な事件だと思えます。特に注目したいのは本マンションの杭工事が、構造計算書偽造で大騒ぎしている最中に行われていたという事実です。

このマンションの手摺が隣のマンションとずれていると報道されたのは1年位前でしたが、その時は「H23年の東日本大震災の影響であり、倒壊等の危険は無い」という見解が発表されました。販売元の三井不動産レジデンシャルは本当にそう思っていたのでしょうか? また、下請け、孫請けの工事業者は不安を感じなかったのでしょうか? 当事者でない私には分かりませんが、少なくとも永年の経験から473本の杭の内、数本が強度を満たさなくても(安定地盤に届いていなくても近くまでは届いているのだから)影響は無いと思ったのではないのでしょうか? いづれにしても今後の調査で業界全体の原因究明と対策、不具合物件への対応に注目していきましょう。

当「やまと得々ミニ情報」でも過去4回(No205, 214, 217, 224)地盤及び改良工事について取り上げてきました。また、H26年の広島の土砂災害の時、地名による先人の警告について(No218)も取り上げています。地盤については今後も注意していきたいですね。

10月、土地区画整理を行った土地に木造平屋住宅を建てることになり、念のために地盤調査を行いました。現地は後方両側を山に囲まれた丘陵地で、擁壁を設置し3M以上の盛土をしたところです。昔から出水が多く、擁壁を設置する為に地盤調査を行い地盤改良した所でした。住宅建設予定場所の地盤調査はJHSに依頼し、SWS法で確認しました。盛土が深く硬く締まっていた為、地山まで確認できませんでしたが、許容応力度、沈下変形、盛土の収縮等を検討した結果、94KN/m²でベタ基礎での対応が可能という事でした。調査に立ち会いましたが、SWS検査自体は簡単でした。しかし、安全性の検討においては土地区画整理時の写真やデータ等いろいろ要求され、面倒でした。責任ある判断をする為に必要な事だと、今回のマンション傾斜問題を通して改めて感じました。

【情報】

「はがきに学ぶセミナー」が開催されます

日時: 11月21日(土)13:00~16:00

場所: 鹿児島市勤労者交流センター

内容: 「はがき道に生きる」 坂田道信先生

[気の効用] 児嶋 克先生

参加費: 2,000円 (5,500円懇親会含む)

申込先: ゆうちょ銀行(普)17830-10177991

ナカシマ カズユキ

【定休日】

11月は1, 7, 8, 14, 15, 21, 22, 23, 29日となります

12月は6, 12, 13, 20, 27, 28, 29, 30, 31日となります

宜しくお願いします。



SWS 検査状況